

2008年5月20日

報道関係者各位

中部学院大学

第53回精神保健シンポジウム・2008ぎふLD・ADHD学習会

親の思いをどう受け止めるべきか

(財)日本精神衛生会と中部学院大学は、第53回精神保健シンポジウム・2008ぎふLD・ADHD学習会を開催します。今年のテーマは「親の思いをどう受け止めるべきか～教育とカウンセリングをつなぐ～」。教育とカウンセリングの融合をより一層深めるために、障害を抱えた子どもたちを挟んで、この子どもたちにどのように関わったらいいかを考える契機と位置づけています。学校教育関係者とカウンセラーが一堂に会し、互いに問題を深めあうことから、明日の教育とカウンセリングのあり方が紡ぎだせることを願っています。

記

- 日時 2008年5月31日(土) 9:00～16:00
- 会場 岐阜県県民文化ホール未来会館 2階 長良川ホール
(岐阜市学園町3-42 058-296-0888)
- 内容
 1. 特別講演(9:30～10:30)
 - 【講師】小山 徹 岐阜大学教職大学院教授(前岐阜県教育委員会教育次長)
 - 【講題】教育相談と学校カウンセリング
～いまこそ、その融合が求められている～
 2. 招待講演(10:40～12:00)
 - 【講師】鈴木 陽子 早稲田大学名誉教授
 - 【講題】特別支援教育と精神保健福祉 ～この人たちの老後を考える～
 3. 基調講演(13:00～14:00)
 4. 【講師】別府 悦子 中部学院大学子ども学部教授
 - 【講題】軽度発達障害児にどのように接するか ～カウンセラーへの期待～
 5. シンポジウム(14:10～16:00)
 - 【テーマ】親の思いをどう受け止めるか
～教師としてカウンセラーとして考えるべきこと～
コーディネーター 吉川 武彦 中部学院大学大学院教授

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 総合研究センター(担当:草薙) TEL:0575-24-2238(関キャンパス)